

## 公募型企画競争 選定結果について

### 1 案件名称

札幌市業務継続計画（地震災害対策編）改定に係る調査業務

### 2 選考委員会の開催日

- (1) 一次審査 省略
- (2) 二次審査 令和3年10月21日（木） 13：30～15：15

### 3 審査基準（必要分抜粋）

- (1) 一次審査
  - ア 提出書類に基づき、評価基準表により、実施委員会委員の評価の合計点が高い順に通過者を決定する。なお、この一次審査の結果は二次審査には持ち越さない。
  - イ 一次審査においては、最低評価基準点を満点の6割とし、最低評価基準点を超えた者を審査対象とする。
  - ウ 一次審査の通過者は3者程度とする。なお、実施委員会委員長の決定により、一次審査を省略する場合がある。
- (2) 二次審査
  - ア 一次審査を通過した企画提案者に対し、ヒアリングを実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、札幌市及び企画提案者の所在地の状況により、オンライン形式で実施する場合がある。
  - イ 二次審査では、評価基準表に基づき、最低評価基準点（満点の6割）を超えた企画提案者を対象として、実施委員会委員の評価の合計点数が最も高い企画提案者を入選者として選定する。

なお、説明は企画提案書のみを用いて行うこととする。
  - ウ 実施委員会による採点と同点の場合は、実施委員会の協議により選定する。

### 4 審査を行った事業者

- (1) 応用地質株式会社北海道事務所
- (2) B社

## 5 審査の結果

### 二次審査

評価の視点	配点	応用地質株式会社	B社
(1) 業務継続計画の構成案について			
① 業務継続計画の構成案について、新型コロナウイルス感染症を考慮した妥当なものとなっているか。	10×6名	52	28
② 非常時優先業務の抽出や業務継続の課題分析等に関する本業務の調査結果を踏まえた業務継続計画の策定方針が妥当なものとなっているか。	10×6名	50	28
(2) 非常時優先業務の抽出について			
① 新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じた地震災害時の非常時優先業務の抽出方法が、国内の知見等を踏まえた妥当なものであるか。	10×6名	50	22
② 非常時優先業務の抽出作業にあたり、明確にすべきポイントや行政側に求める資料等が適切であるか。	10×6名	48	38
③ 非常時優先業務の各局区との調整における着眼点や課題等が、地方自治体の業務等を踏まえた妥当なものであるか。	10×6名	50	36
(3) 地震時の人的・物的制約の想定項目と方法について			
① 職員参集状況の想定方法や、庁舎、電力、ネットワーク環境等の物的制約となる項目等が、第4次地震被害想定や地震災害時の地方自治体の業務を踏まえた適切なものとなっているか。	20×6名	80	76
(4) 業務全体について			
① 本業務を円滑かつ効率的に進められる業務実施体制、業務工程計画が示されているか。	10×6名	48	34
② 本業務を円滑に進められると判断できる十分な業務実績があるか。	10×6名	40	44
③ 業務の目的を達成するにあたり、独自性があり、有効な提案となっているか。	10×6名	48	22
合計	100×6名	466	328